

地域に根付いたSDGs推進で地方創生 ～ひとり親世帯等の高校生に対する学習支援～

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

■ 横浜信用金庫「よこしん」について

創立

1923年7月19日

役職員数

1,220名

本店所在地

横浜市中区尾上町2-16-1

預金量

2兆703億円

融資量

1兆1930億円

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

経営理念



(2025年3月時点)

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

営業統括部 地域連携課 チーフマネージャー 目黒 豊

1995年 入庫 十日市場支店 配属

2019年 大倉山支店 支店長

2021年 ソリューション支援部 地域連携課 課長

2022年 ソリューション支援部 地域連携課 マネージャー

2023年 営業統括部 地域連携課 マネージャー

2025年 より現職



■ 地域連携課の様々な業務

令和7年度 夏休み特別企画

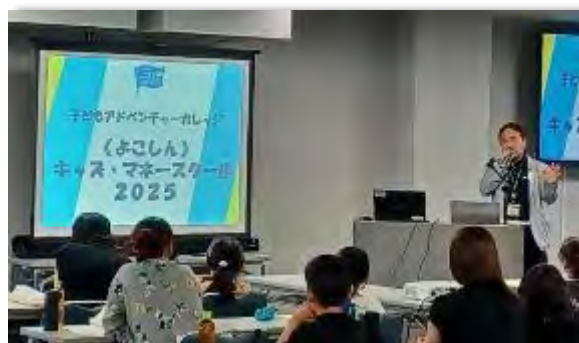
《よこしん》 キッズ・マネースクール

参加費 無料

※本イベントは、「子どもアドベンチャーカレッジ2025」(主催:横浜市教育局)の参加プログラムです。

授業、見学などを通して
信用金庫の仕事を楽しく学ぼう!

お礼の敷え方も披露するよ!



2025
《よこしん》
横浜F・マリノス
サッカー教室

令和7年 11月29日(土) 参加無料

10:00~11:30 (小学生低学年)
13:30~15:00 (小学生高学年)

選手育成ゲストコーチ
遠藤康広
アンバサダー



YOKOSHIN BASEBALL SCHOOL 横浜信用金庫は横浜DeNAベイスターズを応援しています

2024 《よこしん》野球教室

横浜DeNAベイスターズの選手がやってくる!

講師は横浜DeNAベイスターズの選手です

参加無料

- ★家庭用キャッチボール教室
- ★ストロークアウト・スライダース・バットティング 等
- ★楽しいイベントが盛りだくさん!

●日時: 令和6年
12月8日(日) ※雨天決行

午前の部/10:00~12:00
午後の部/13:00~15:00

●会場
DOCK OF BAYSTARS
YOKOSUKA(室内練習場)
横浜賀子区島町2番2

特定
地域連携

よこしん 創業スクール 2025年度 受講生募集

新しい時代の取り組みはどんなものがあるか、自分とどう向き合っていくかについて考えてみませんか?
あなたも持っている夢をテーマに、創業について一緒に学びましょう。

■ 横浜市社会福祉協議会との連携について

令和3年6月に身近な地域の支えあい及び地域貢献活動の活性化を図ることを目的に包括連携協定を締結しました。

連携事項

地域福祉
活動の支援

SDGsの普及
啓発

人材支援

災害対策

その他
地域経済及び
福祉活動の
活性化



左) 横浜市社会福祉協議会 荒木田会長（当時）
右) 横浜信用金庫 大前理事長（当時）

■ 取組内容と特徴

□ 経済的負担を軽減した継続的な学習機会の実施

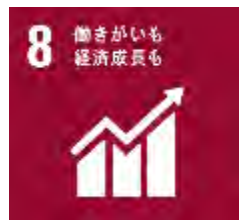
ひとり親世帯の高校生を対象として、学習支援事業（英語教室／個別指導）を無償で市内3か所（横浜・戸塚・中山）にて実施。
※週1回 約2時間の授業

□ 垣根を超えた地域団体との協働体制の構築

当金庫・横浜市社会福祉協議会・横浜市ひとり親家庭福祉会・横浜市シルバー人材センター・学生ボランティアによる協働で運営。

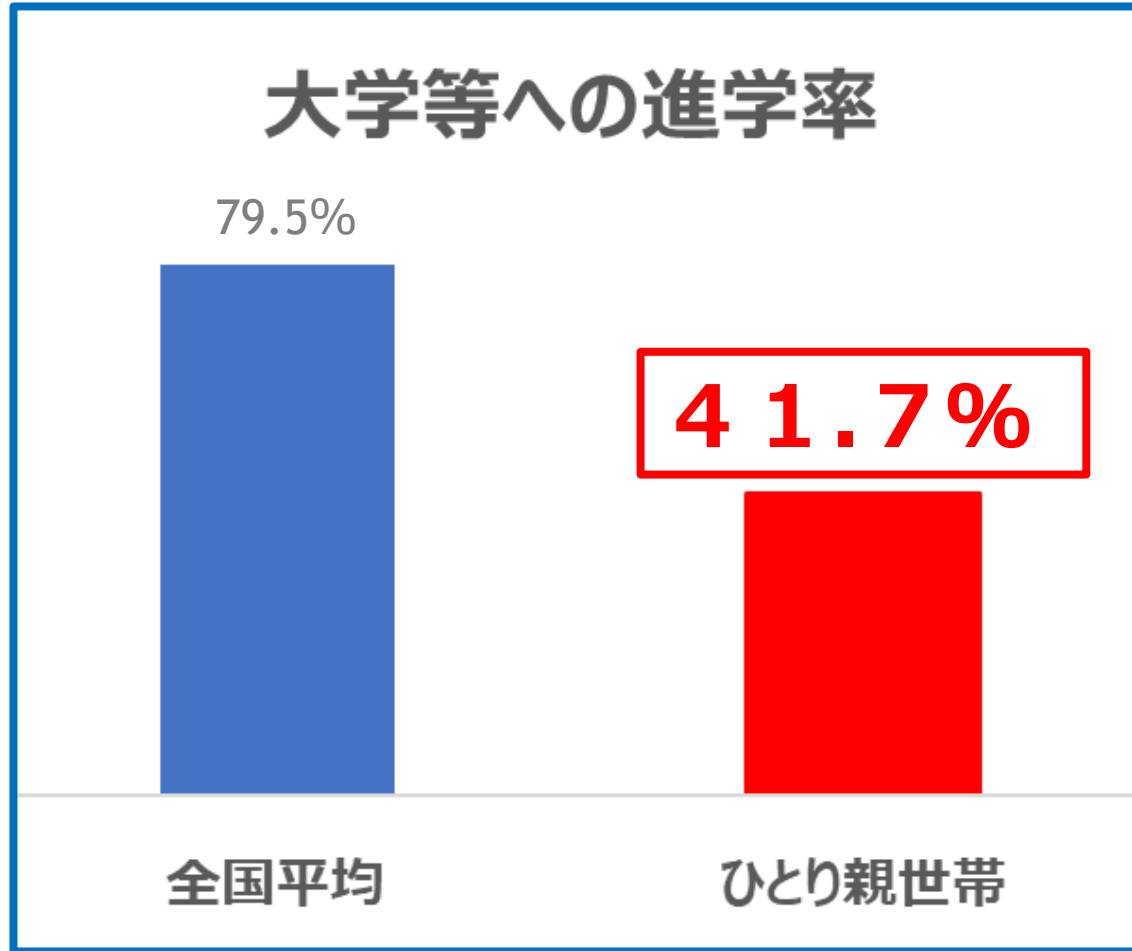
□ 英語が堪能な講師陣による少人数制指導

講師には横浜市シルバー人材センターに登録している、元教師、海外駐在の経験等実績のある方に依頼し、高齢者の活躍促進にも繋がっている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■ 取組の背景



出典：平成26年「子供の貧困対策に関する大綱」

国の統計で、ひとり親世帯の大学等への進学率が低いことを知った



横浜市が「子育て」を
重点施策としている



包括連携協定を結んだ
横浜市福祉協議会と
何かできることはないか？

■ 取組の背景



出典：2020国勢調査データ

横浜市では、ひとり親世帯で
高校3年生を抱える世帯が
2,000世帯超



コロナ禍により、経済状況等が
さらに悪化していた



「ひとり親世帯の学習支援」
について検討を始めた

■ 取組の背景

やるからには、持続可能な仕組みでなければならない

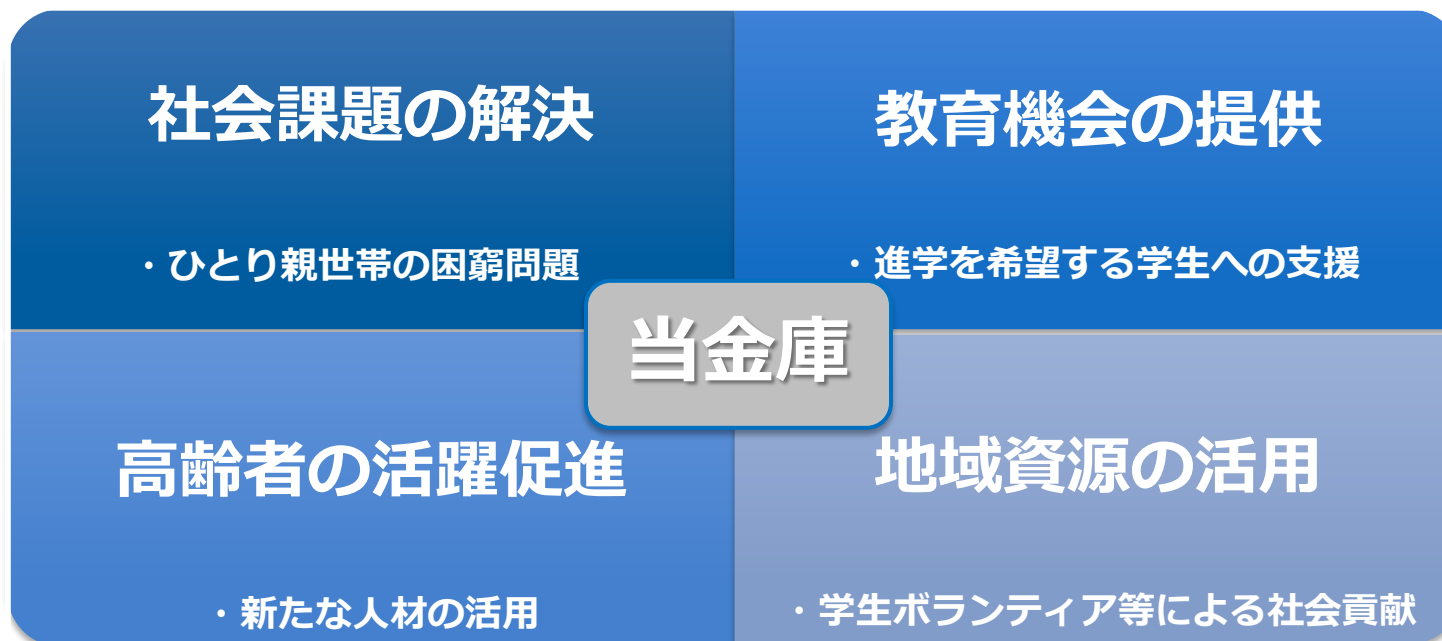


SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



費用負担をできるだけ軽くする仕組みが必要

■なぜ信用金庫が取り組むのか？（社会的責任を果たすには？）



信用金庫ができる支援・行動



社会の課題に対し地域の資源を活用し、地域活性化循環を生み出す仕組作りのサポート



お金の融通だけでなく人・物・情報の融通を行うことで持続可能な社会の醸成を目指す

■ 支援体制の構築

横浜信用金庫

つながりを通じた
仕組みの構築と調整

横浜市社会
福祉協議会

仕組みの検討と
教室の無償提供

横浜市シルバー
人材センター

経験豊富な講師
の派遣

近隣の大学

大学生ボランティア
の派遣

横浜市ひとり親家庭福祉会

一定の募集人数を確保

■ 学習支援の流れについて

学習支援の流れ

ひとり親家庭福祉会が、
毎年度対象者に対して
案内をする。

(区役所等とも連携)

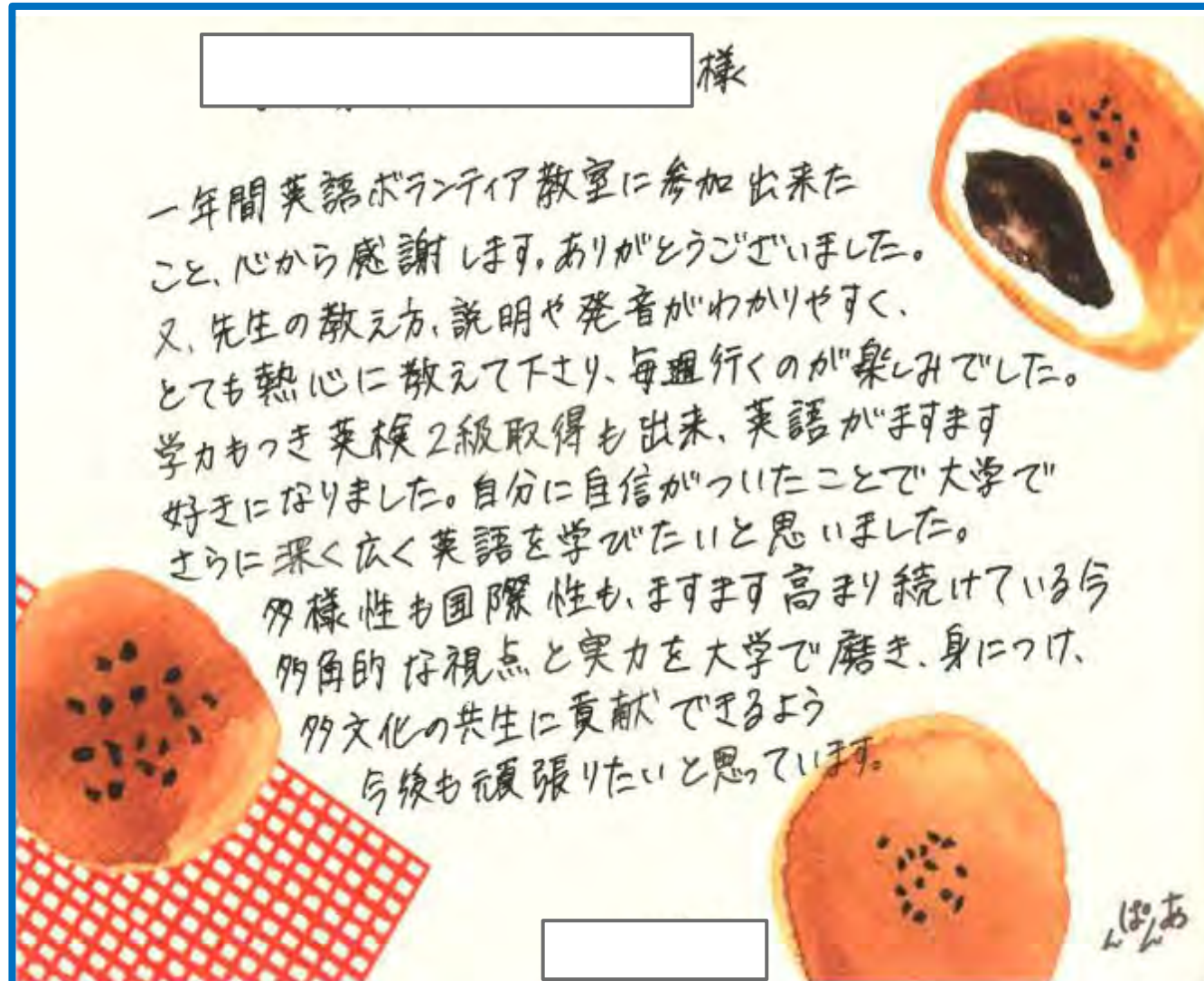
当金庫、横浜社協、シ
ルバー人材で協議し、
年度の授業方針を決定。

授業は、講師、大学生
ボランティアが中心と
なり、テキストに沿っ
て進める。

高校1年生から3年生
までが対象。

継続して授業が受け
られる。

～卒業生からの感謝の手紙～



■ 取組への反響および外部評価について（１）

令和5年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」
として内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰を受ける。

内閣府・内閣府特命担当大臣
地方創生

令和5年度
地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果
～地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例～

内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局
内閣府 地方創生推進室
令和6年3月



自見地方創生担当大臣（当時）



横浜信用金庫 大前理事長（当時）

2024.03.14撮影

約1,000事例の中から「特徴的な取組事例」16選に認定

■ 取組への反響および外部評価について（2）

● 第27回 信用金庫社会貢献賞の「Face to Face賞」を受賞



● 令和4年度「横浜型地域貢献企業」プレミアム表彰を受賞



■ 今後の動きと持続可能な運営体制構築のために

本事業は横浜市社会福祉協議会との包括連携による協議から立ち上げた事業であるが、社会課題の解決に向けて地域を巻き込んで解決方法を模索することで、各事業者と一体感をもって取り組むことができた。

□ 今後も連携体制は継続していくとともに、新たな課題解決の方法を模索していく方針。

□ 運営資金は企業等による寄付金を原資としており、地域の支援があって成立している事業であり、運営に当たっては各事業者との連携を深めていく必要がある。

※横浜社協発行広報誌「福祉よこはま」
(本事業に対するインタビュー記事)



ご清聴ありがとうございました

これからも信用金庫の原点を忘れず、
金融を超えた価値を提供し、
笑顔あふれる地域づくりに貢献してまいります。

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫